

令和6年度村政懇談会の開催結果について

1 開催概要

月日	地区	会場	村民	議員	村
6月24日(月)	北山	構造改善センター	20	2	12
6月25日(火)	大塩	生涯学習センター	13	3	12
6月27日(木)	裏磐梯	自然環境活用センター	19	2	12
6月28日(金)	桧原	生活改善センター	15	1	11
			67	8	47

2 村長あいさつ

令和6年6月24日から28日まで、地域を単位として、4会場で村政懇談会を開催しました。村民の皆様には、ご多忙の中、また仕事終わりにも関わらず、ご参加をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

私は、持続可能な村づくりを進めるためには、多くの村民の方々に村政に対して関心をもっていただき、村民と行政が一体となることが必要不可欠であると考えており、昨年に引き続き、村政懇談会を開催したところであります。

昨年の村政懇談会において、皆様から頂戴しました貴重なご意見を踏まえ、「子育て対策の充実」、「住環境の向上・福祉の充実」、「観光人口・関係人口の拡大」の3つの施策について、令和6年度当初予算において重点的に配分させ、事業を充実させることができました。

今年は、北塩原村が誕生し 70 年という節目の年です。村のさらなる発展のため、「みんなで考え・みんなで前へ」を旗印として、引き続き村民の皆さまの声に耳を傾け、みんなが輝きみんなが誇れる持続可能な村づくりを進めます

今後も、寄せられましたご意見を真摯に受け止め、村政の進展に力を尽くしてまいりますので引き続き指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

令和6年7月
北塩原村長 遠藤 和夫

3 議事録(会場ごと)

○北山地区(6月24日(月)19:11~20:35)

令和6年度新規事業

【住 民】説明のあった事業について、全体的に、それぞれの行程管理(起承転結)や結果的にどうするのかといった時間軸は策定されているのか。実現性はあるのか。

【副村長】主に令和6年度の新規事業である。年度内でのスケジュール管理を行っており、事業によっては下半期から実施するものもある。

【村 民】村ホームページ等で進捗状況の確認などはできるのか。四半期ごとの見直しなど。透明性の確保はされているのか。村政を司っている人しか知りえないのか。

【副村長】ホームページでは公開していない。定例監査の中で年2回ほど進捗の報告をしている。

【村 民】せっかくだから、管理の仕組化をしてはどうか。人事が変わったとしても年度ごとに継続性をもって進めていただきたい。

【村 長】令和6年度事業の実績がどうだったのかといった評価をしたうえで、継続性を持っていかしていきたい。

【村 民】結婚の希望を叶える事業の最大 60 万円贈呈とは。

【保福課】若い世代の方が結婚するにあたって、先立つ見通し、金銭的な支援も必要だという考えの事業。最大 60 万円は、30 歳未満の方、20 代の方。40 歳未満、39 歳以下の方であると 30 万円という形で支援。村として定住に結びつけたく、現在居住する家屋のリフォームや増築、若い世代が同居するとなると水回り、トイレの改修も見込まれるので、そのような改修経費に対する支援である。これまでの事業の場合、結果として定住になかなか結びつきにくいところがあり、結婚、定住に必要な経費を補助する事業とした。

【村 民】この新規事業は何年くらい行う予定か。

【保福課】条例として制定していることから、継続性のある事業と認識している。

【村 民】定住したものしかもらえないのか。村営住宅などに住んでいる人は対象になるのか。

【保福課】移住者も定住者も使える。

【村 民】小学校終わると村営住宅を出ていってしまう。空き家にしとくなら入ってもらった方がいい。しっかりとフォローしながら活用してもらえるように進める必要があるのではないか。

【保福課】企画室、窓口、福祉の担当課で連携し寄り添う体制をつくっている。

福島駅伝

【村 民】福島駅伝について、具体的にわからないから聞きたい。子は宝というが、誰もそのようなことを考えて政治をしていない。国民をないがしろにしてきた政策の積み重ね、これによって生じた結果が今の状況。地方自治体がいかに頑張っても限界がある。でも、子育てについては創意工夫すればしっかりやるとできることがあると思っている。先生は免許を持っているが我々は子育ての素人。その中でも失敗しながら取組んでいる。子育ては家庭だけではなく地域の方との取組みが大切。福島駅伝も子育ての大きなイベントだと思っている。7月から毎日練習している。監督を始めコーチや保護者などの協力を得ているにも関わらず、昨年は応援バスを出さず、慰労会もしない、弁当を配布して終わり。これではお粗末。子育てに力を入れているというが、どうなのか。村長のお考えを伺う。

【教育長】応援バスについては、県庁近くに大型バスを駐車する場所がないことや、応援バスで周れるのが限られてしまうのが現状。ゴールの県庁に行きたくても駐車ができなかったことから、出さなかった。慰労会を行わなかった理由として、選手の中に喜多方三中の生徒がおり、翌日が期末テスト、村内中学校はその週に期末テスト、3年生の実力テストがその週末に行われることがあったことから、中学校側からの要請を受け、報告会のみで開催とした。

【村 民】県内の各駅伝の団体は全部そうしているのか。そんなことしたら駅伝に参加しなくなる。いろいろあると思うが、どうしたらできるのか、知恵を出し合えば従来と同じでなくても何かしらできると思う。応援バスは、参加している自治体ではやっているところはないのか。監督がどんな想いでこの駅伝に取り組んでいるかわかっているのか。子育てや村に対する思いを議会広報で語っている。読み返していただきたい。要望は二つある。一つは、村長に駅伝チームの監督はじめコーチと膝を突き合わせて話してほしい。事務局無しで。もう一つは村民の福島駅伝の盛り上がりがない。みんなで応援する仕掛けづくりをしてほしい。防災無線の活用などはどうか。村の存亡は村長の動きにかかっていると思う。

【村 長】昨年、チーム指導者から不信感があがっていることは聞いている。検討する。

【村 民】検討ではなくて約束してほしい。

村の駅構想

【村 民】村の駅はどのようにすすんでいるのか。

【村 長】住環境の向上・福祉の充実として、買い物や食事、交流などができる施設として村の駅の整備を考えている。議会と協議を進めてきたが、規模や予算などで理解が得られていない。引き続き継続して議会と協議を行っている状況。安心して住み続けられる村づくりを進めていきたい。

【村 民】村長の村の駅構想はどんなものなのか。

【村 長】まずは、買い物ができる場を考えている。昨年、あるスーパーと協議をしていたが、人口規模などから出店は難しいようだ。一方でコンビニエンスストアからは、十分採算がとれるといった話もある。また、北山地区には飲食ができる場がないことから、食堂を確保したい。また、農産物を販売でき、農家の収入に結びつくような直売所をつくっていききたい考え。

【村 民】なるべく早く実現してほしい

住宅用地

【村 民】寺ノ前にある住宅地はどうなっているのか。村西の土地もどうするのか。

【村 長】寺ノ前には、昨年、官民連携により5区画造成した。民間が独自に売却し建売販売をしているもの。現時点では契約に結び付いていない。村西も村が過去に買収した土地がある。寺ノ前の販売状況を踏まえて、順次進めていく考え。

ラビスパ裏磐梯

【村 民】村の駅ができるということで期待していた。ラビスパ裏磐梯がなくなったことで集える場所や弁当の手配(仕出し)ができなくなった。村民の交流の場が少なくなったように感じる。ラビスパ裏磐梯については今度どのように考えているのか。

【村 長】これまで、村政懇談会、議会で説明をしてきた。ラビスパ裏磐梯についてはプールゾーンの屋根の老朽化が激しく、その改修だけで5億円かかるといった試算が提示されたことから、

1月31日で営業を停止し、3月末で廃止と考えていた。議会にその廃止条例を提出したが、承認が得られていない状況。現在は、利用いただけるような事業者を公募し、改めて議会と協議しながら進めていく考え。

【村民】業者が現れるのを待っているのか。セールスはしているのか。

【村長】村ホームページなどで公募している。

【村民】村ホームページに出したところでも意味がない。人が動かなかつたら心から響かない。しっかり動く必要があるのではないかと。もっと真剣に考えていただきたい。実際に村長はどれだけ首都圏に行ってPRしてきたのか。トップセールスをしなければ人に気持ちが伝わらない。村がますます衰退していきだけ。トップセールスをした回数を提示してほしい。

【村長】数字を申し上げることはできないが、相当数行っている。

【村民】直近でいつごろ行っているのか。行っていないから答えられてないし、行ったとしても中身が不十分だと思う。

【村民】ラビスバ裏磐梯が無くなったことで集まる場所がなくなったとあるが、大規模改修事業に10億円かかるかといっていた。村には1000戸あるため、1戸あたりにすれば100万円。国の補助を1/2もらったとしても50万円負担する計算。これを出して継続したいと皆さん思うのか。会津坂下町では令和3年度に温泉施設を閉鎖した。村はアンケートとして53.5%の人の考えで継続すると判断した。アンケート項目は、これまでの間に数回程度使用したという人が57%。1年間の中で数回程度利用したいことがある人が30%。この二つで80%を超えていて、結局は、ほとんど利用していない人の回答で村長は継続を判断した。R4、R5にラビスバ裏磐梯に税金が投入され続けてきた。1億4千6百万円以上つぎ込んで突然辞めるとなった。会津坂下町と同じ時期にやめてれば出す必要が無かったお金。それがあれば区長要望にも十分に応えられた。村民の健康増進施設といってもそういう施設になっていない。村の後期高齢者の一人あたりの医療費は年間89万円です。県内ワースト2位。健康増進施設として村民に使われていない結果。誰も行っていないから。村長は決断のミスをした。事業はそんなアンケートで決めるものではない。ある銀行の支店長をしていた友人も笑っていた。多額の費用を弁償いただきたい。

【村長】ラビスバ裏磐梯については、議会と協議して進めてきた経過がある。昨年、再協議して今に至っている。議会から賛同を得て実施してきたこと。弁償というお話もあるが私は考えていない。

【村民】判断ミスではなかったのか。

【村長】判断ミスという考えはない。

【村民】ラビスバ裏磐梯について議会の議決を受けているから弁償しないとあったが、廃止条例を否決していることは守らなくていいのか。疑問として聞く。

【村長】ラビスバ裏磐梯については皆さまから営業停止の意見を多々頂いた。そのような意見を尊重して、取り止め、新たな人口減少対策にシフトしていったところ。

【村民】議会は何対何だったのか。

【村長】4対5で否決となった。

【村民】議会のことに口を出すつもりはないが、今後の目論見を踏まえて否決していると思うが、私としては有限な資源を有効に活用すべきと思うし、廃止すべきと考える。その分、福祉などに活用していただきたい。ちょっと直してギリギリやり続けるのは相応しくない。

企業誘致

- 【村 民】人口が減っている。どうしたら増えるか。いろんな案を出しているがこれでは増えない。村に魅力がないから素通り。企業誘致をしないと難しい。そのような提供できるような工業団地をつくる必要があるのではないか。引き寄せるような村長の働きかけを願いたい。
- 【村 長】働く場所の確保は大切なこと。東京事務所に働きかけをおこなっている。水を資源とした企業進出を願っているが実現していない。引き続き働きかけをしていきたい。松陽台やスカイヒルに住んでいる方に対して、住宅取得の補助制度を作ったから活用していただきたい。
- 【村 民】松陽台の子供たちなど通学する子供が少なくなっていると感じている。転出者を減らす、移住者を増やすには、村に残っていけるために、村単独では難しいと思うから、近隣自治体と協力しながら、企業を誘致すればいいのではないか。
- 【村 長】会津総合開発協議会という組織がある。国、県への要望事項として挙げてきた事実もある。働く場所の確保は続けていきたい。

除雪

- 【村 民】村民運動場から熊倉に抜ける道路の除雪の判断基準はどうなっているのか。建設課に確認したら除雪エリアでないとのこと。であるならば、通行止めにしていただきたい。
- 【建設課】令和3年度までは実施していた。令和4年度からは除雪会議の際に農道であることから除雪をしないとした経過がある。その後、住民からの声もあり、村道を優先的に実施してから農道を実施していた。令和5年度からは、同様に実施することとしている。周知が足りなかったと反省している。
- 【村 民】やっているというが、現実、除雪はされていない。話が食い違っている。谷地のほうはやっである。結論としては、必ず除雪を実施するということでもいいのか。
- 【建設課】除雪はすることとしている。オペレーターに指示していく。

人口減少対策

- 【村 民】子育てと雇用対策だが、子育て対策は大変素晴らしい内容。他の市町村と比較してもあきらめず。欲を言えば延長保育を30分ほどのばせればよいと思える。お金もさほどかからないのではないか。難しいことをせずに、今やっていることをしっかりと。雇用対策として企業誘致は昭和の時代の話。企業の論理は、事業性がなければすぐ撤退に直結する。村に見合った雇用対策。ローカルビジネスを増やす(DIY、カフェ、食品加工など)ことが大切。対話型市場調査をしながらとりあえずやってみることが必要。マルチワークを前提としながら、技術を持った人がくるような仕組み。テレワークが当たり前になっている。こういうのは時間がかかる。孫たちが戻ってくる程度の長期の考えで進める必要がある。職員だけではマンパワー不足。企業との連携。企業は常にビジネスチャンスを探している。村には可能性が大きい。いろいろとチャレンジしていただきたい。
- 【村 長】企業の力を借りるのは大切。様々な場所で出会った方々に相談を申し上げてきている。新たな動きが生まれるように進めていきたい。

その他

- 【村 民】普天間かおりさんが来年観光大使就任20年とのこと。社長が村に期待してるようだ。早稲沢にも歌手の方がいる。小椋あかりさん。観光大使などを検討してはどうか。

○ 大塩地区(6月25日(火)19:25~20:27)

学校給食

【村 民】学校給食助成は無償化となっているが一食あたりの単価を教えて欲しい。

【教育長】さくら調理場の場合、メニューによって多少の上限はあるが、小学生が340円、中学生は403円となっている。

【村 民】全国平均と比較した場合、村の単価は高め。子供にとってとてもいいこと。他の地域では300円に満たないところもある。ただ、中学生の場合、その量で充分間に合っているか。不平不満の声は挙がっていないか。

【教育長】中学生に限らずそれぞれの小学校も含め、塩分量やカロリーなど一食当たりの分量が決まっていることから、むやみに増やすことは学校給食では行っていない。一定量を食べてもらうことが原則。残菜が出た場合はお代わりを良しとしている。そのような苦情は入ってきていない。

【村 民】これから幼稚園も始まるとのことだが、管理栄養士の方の苦労が考えられる。地産地消はどのようなものを使っているか。

【教育課】米については村の米を使っている。野菜についてもある程度使っている。

【村 民】できるだけ村にお金が落ちるように考えてやっていただきたい。

【村 長】幼稚園給食については、現在搬入路の整備をし、準備を行っているところ。来年には無償化したいと考えている。

人口減少対策

【村 民】村の人口減少について、子育てを充実することも大切だと思うが、しかしながら、若い世代の方々が転出してしまう。仕事の関係もあるようだ。その時に、移住者を増やす、転出者を減らすといったことに担当はどのように考えているのか、生の声を聞いているのか。若者に対するアプローチが見えてこない。どのように考えているか伺いたい。

【村 長】村は消滅可能性自治体と言われている。県では33自治体。そのデータは20~39歳の女性がどの程度いるかをはじき出した数値。子供の出生を考えればその年代の方が定住いただくことが重要。村では結婚から妊娠までの施策を充実させた。この施策内容は他の自治体と比較して充実していると北山地区の懇談会出席者からの声があった。しかし、若者が本当に何を必要とし、何があれば戻ってくるのか、そのような調査をしたことはなかった。都市部で村から転出された方を集めて話を聞いてみたいと考えている。その方々に情報を共有して、皆さんから拡げて頂きたいと考えている。小千谷市も70周年を迎えられ、その際に市長が全行政区長を集めて子供達戻ってこい運動を働きかけているようだ。私も幼少期、親からは好きに生きていいと教育されてきた。しかし長男であることから、村の存続、家を守ることを考えて戻ってきた。家庭の教育も必要だと考えている。行政が考えること、各家庭が考えることそれぞれが大切なんだろうと思う。

【村 民】ぜひとも、村の施策が実際に住んでいる若者とのギャップがないように取組んでいただきたい。根本的な部分の調査が必要と考える。そのことによって、子育ての手厚い施策が活きてくると考える。

【村 長】昨年は15地区で懇談会を実施して、その意見を踏まえて令和6年度事業の構築、見直しを進めてきた。ぜひ、若い世代の方とも話し合いを進めていきたい。

【村 民】私の息子も東京にいる。帰ってきてもらいたいと考えているが仕事がない。副村長も同様だと思う。どう考えているか。

【副村長】生まれ育った場所には特別な思いがあると思う。時々ふるさとを思い出してもらって人生設計の中で判断してもらえればと考えている。

【村 民】移住されたい方がいるが、住居がないことも課題のようだ。単身で住めるような住居。今は裏磐梯で仮住まい。独身の方も住めるような住居があるといいのではないか。

【村 長】令和3年度から蛇平地区に戸建て住宅4棟を建築した。村営住宅は所得制限があることから、家賃の高騰などの影響がでないように住み続けられることができるようにとした。今後は、ペンションなどのシェアハウスなどで有効利用ができないか、そのような方のニーズを満たせるように担当課で検討している。

観光振興

【村 民】小さい時からの教育も重要とおっしゃっているが、私自身、今現在はここに住んでよかったと思えない。小学生ではなく、高校生に聞くことが必要ではないか。ここに住むには何が必要か。大学に出たら戻ってこないのが現実。地元に残すには仕事や住居など条件があるはず。観光客の入込が200万人とおっしゃっていたが、満足しているのか。

【村 長】これまで、裏磐梯中学校の中学生から村への提言といった形で話した経過がある。始まる前に村に戻ってきたいといった子は3名だったが、村の実情や課題、施策などを話し合った後に再度確認したら6名が手を挙げた。高校生を含めてそのような話し合いをする機会を設けたい。200万人が十分かどうかは経済的な実感ができているか、そのような効果を得られているかどうかを課題と考える。

【村 民】同感。200万人で喜んでいる場合ではない。経済効果がなければ無意味。村が観光に力を入れているかどうか疑問。機構改革で観光課を独立させたが、観光で経済的に潤すほどの効果が挙がっているのか。他地域ではインバウンドのオーバーツーリズムとなっている。村の遊歩道は魅力。しかし、稼働しているところは何か所あるのか。林野庁の問題もあると思うが、通行止めで稼働は少ないと聞いている。そのような整備をきちんとやるのが大切。村長自身が把握しているのか。観光課から話は出ているのか。桧原湖周辺の伐採はやっているようだ。とても必要なこと。

【観光課】探勝路の維持管理については観光協会に委託し、3名体制で実施している。野鳥の森は木道破損で通れない。県が現在修繕を進めている。金山浜は湖に面している部分が通れない。吾妻川探勝路は川に面している部分が通れない。布滝に行く探勝路は今年度実施設計し修繕する予定。小野川湖畔探勝路は出入り口の橋が壊れている状況。小野川不動滝に向かう参道の探勝路は利用可能。中津川渓谷探勝路は通行止めしている。

【村 長】あるペンションではインバウンドが多いと聞いた。フリーで来る方のような。猪苗代駅から歩いて訪れるなどパワフルな方。裏磐梯エコツーリズム協会とも話し、探勝路の整備を進めていきたい。必要なところ不要なところの整理を進めていきたい。全てを維持するのは困難だし、場所によっては維持費がかかる。精査をしながら楽しめる探勝路整備を考えていきたい。

【村 民】道の駅で台湾からのインバウンドツアー客がたくさんいた。自転車できたようだ。そのガイドは村の良さを感じていたようだが、奥のエリアは藪などで今は行けないと言っていた。その方々は何度か村にきている。景観のいいところは残してもいい。人気のないところは

閉鎖する判断も必要。観光は人を呼び込む重要な資源であり大切。観光協会にどれだけ予算をつぎ込んでいるのか、どんな業務をしているのか、しっかり仕事をしてもらうべき。

【観光課】補助金は約 2200 万円。それ以外にも委託などある。

【村 民】それだけの予算をかけてるわけだから、しっかりと取組んでもらうべき。もったいない。しっかりと指導してほしい。自然景観を生かした事業を徹底的に進めてほしい。

【村 長】貴重なご意見として進めていきたい。

ラビスパ裏磐梯

【村 民】ラビスパ裏磐梯が無くなったことが気になっている。泳ぎと筋トレをしてきた。通っていた時と比べて、体力が低下していることを感じている。人間ドックで検査した数値が悪くなっていた。村の健康増進施設を求める声は一定程度あるはず。そのような施設の整備可能性はあるのか。改修するのか、又は他地区などへ小規模な施設を整備するなど。

【村 長】ラビスパ裏磐梯については、昨年の村政懇談会でも提案し、ご意見を頂戴してきた。竣工し 28 年が経過した。プールゾーンの老朽化が激しく、万が一落下する危険性があったことから停止した。その後、レストラン、温泉、ジムなどを営業してきたが、経費が大きく赤字が膨らんでしまう。村民の健康増進や雨天時の観光客対策としてリニューアルを進めるべく、国の補助金を活用して議会の承認を得ながら進めてきたが、令和4年度の出生数が少なかったことを踏まえ、人口減少対策にシフトすべく、1月末で停止、3月末で廃止としたいと考えてきたが、議案は否決となっている。村では、まずは民間の事業者が利用したいという方がいるのかを確認するべく、公募をしているところ。6月末時点での結果を踏まえて、再度議会と協議する考え。今時点ではやらない方向で進めてきたところ。

シルバー人材センター

【村 民】シルバー人材センターでは、高齢化が進んでおり作業が困難なようだ。村としてどのように考えているか。シルバー人材センターに限らず、村が支援し設置された団体などを作った後のフォローや予算が重要だが村は足りない。他の自治体も同様に新規に入る方が少ないのが事実。話し合いは進めているのか。

【保福課】シルバー人材センターの活動支援として、村から 10 数万円を支出している。対象経費は会員募集の経費、研修費用や一般事務経費。現状はフルに活用できていないのは事実。受託事業で一定程度の収入はあるようだ。来月に県シルバー人材センターを招いて今後の方向性を話し合いする予定。今の課題や次の一手を検討していきたい。活動の範囲を精査するなど。作業も草刈のほか負担の少ない作業も一考。一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯も増え、小さな困りごととも増えていると思われる。

【村 民】各課を跨いで何でも相談できるようにしていただきたい。

その他

【村 長】本来であれば就任当初から村政懇談会を開催して、皆さんと課題を共有して前に進めていきたいと考えていたが、コロナによって実現しなかったことは残念であった。昨年ようやく開催ができ、それを踏まえた新たな事業展開に繋がった。村は令和6年度に実施する事業を説明し、皆さんに点検していただければと考えている。新たな発想や活力に繋がる。村民からの声は勇気づけられる。叱咤激励を頂戴して次にステップアップすることにもな

る。昨年は 15 箇所で実施したが、今年度は村内4地区とした。多くの皆さんから声を聞く機会を設けていきたいと考えている。友人などをお誘いあわせ頂き、また参加いただきたい。今年度は村制 70 周年の年。この大きな節目を絶好の機会として、皆さんとともに前に進む村政を実現していきたい。よろしくお願いいたします。

○ 裏磐梯地区(6月 27 日(木)19:12~20:36)

令和6年度新規事業

【村 民】情報発信プラットフォームの基盤整備とは何か。サイクルツーリズムとは何か。

【総務課】公式 LINE の導入による行政サービスの充実や情報のプッシュ型での配信、オンライン施設予約といった仕組み。

【村 長】メリダジャパンと連携して、レンタサイクルや事業者の知見を活かしたコースの設定、競技の実施などを考えている。裏磐梯の魅力を発信していきたいと考え今年度進める。

【村 民】公式 LINE はいつからか。

【総務課】10 月スタートを目指している。

観光振興

【村 民】観光人口・関係人口の拡大というが、裏磐梯地区は経済活動ができていないことが大きな要因。経済活動ができれば人口減少にも大きく関わってくると思う。施設整備により利便性をあげるというが、村が今後、観光政策をどのように進めるのかの方針が見えていない。大丈夫だろうという安易な考えで物事が進んでいることが見受けられる。これまで何度も話し合いをすすめてきたが、何一つ実現していない。このような時代だからこそ官民一体で考えなければならない。裏磐梯には優秀な人がたくさんいる。その方々の知見を活用していくべき。インバウンドを考えればチャンス時代かもしれない。村の方向性を決めてほしい。失敗してもいいので邁進してほしい。周りには情報がたくさんある。恵まれた景観などを考えれば裏磐梯は成功すると思う。経済活動ができるように官民一体となってやっていってはどうか。

【村 長】6月 20 日に令和8年の DC に向けた関係で皆様にご協議いただいた。これまで、観光についても村が考え、村が実施することが多かった。村民の皆さんと考える機会が少なかった。過日の会議では皆様から忌憚のないご意見を伺えた。とても大切なこと。私が就任して以降、五色沼を拠点とする上質化を進めていきたいと考え、観光プラザとビジターセンターを一面化した中で、新たな施設や公園の整備を考えている。柱となる観光施策についても皆さまと考え共有する機会をつくっていきたい。

【村 民】桧原湖底には素晴らしいものが眠っている。それを見えるようにすれば観光地化できるのではないか。ダイバーを呼ぶなどして観光に活かしてほしい。村出身の歴史家もいるようだ。歴史家の知見も含めて進めてほしい。城跡もいいが、見えないことが魅力。小エビの養殖も面白い。産業を興してほしい。村内の施設で提供できると地産になる。

【村 長】エビは初めて聞いた。おもしろい。

有害鳥獣対策

【村 民】熊の出没による被害が見受けられる。どのような対策がされているか。

【産業課】有害鳥獣関連予算は 1680 万円を計上している。専門員の配置の経費。これは県内初の取り組み。有害鳥獣実施隊の活動経費。熊やイノシシ、ニホンジカの捕獲に要する報償経費。環境省と横断的な対策を講じている。電気柵の設置費用の助成。花火の支援など。

【村 民】熊の目撃情報が広範囲すぎる。もう少しピンポイントでいただきたい。警戒しやすくなる。駆除はしているのか。

【産業課】緊急時、防災無線による注意喚起をしており、その際はできるだけわかりやすい場所を伝えている。観光との連携では、ビジターセンターが運営しているスマホでの目撃情報による発信、SNS の活用などにより周知している。駆除は県内でも多い捕獲数。実施隊が高齢化しているものの、しっかり活動していただいている。今後、後継者の問題がある。

【村 民】熊の被害が出るたびに看板が増えていく。看板は行政の責任回避のように思われる。今は中瀬沼に多く出没する。正しく熊を怖がるのが大切。行政のやり方は乱暴ではないか。遭遇した時に実際にどうすればいいのかなどを、住民に対して説明する機会が必要ではないか。遊歩道に怖くて入らなくなってくる。安全が担保できるガイドツアーがいいのではないか。ガイドが生業として生きてくる。ガイドツアーの在り方を見直す良い機会になるのではないか。駆除ばかりしてもそれが正解か疑問。

【村 民】専門員の講習会が希望によりできると聞いたがどうか。

【産業課】観光で来られた方は熊がいることすら知らないでいるのが現状。村としては知らせることが重要と考えている。講習会も可能。

インバウンド対策

【村 民】インバウンドは日本の 50 億倍いる。円安などを考えれば、これから増えてくる。今後どのように対応していくかが官民一体となって方向性を示すのが重要ではないか。裏磐梯に台湾からのインバウンドが増えている。東南アジアには紅葉がないことから、その時期にくることも想定される。村や県からの効果的な発信が必要。期間限定でもいいから福島空港からの直通便の要望を願う。会津若松や大内宿にも多くのインバウンドが来ている。タイアップしていくべき。経済活動にはインバウンド需要は必須になる。

【村 長】インバウンドは令和5年度に3万1千人の宿泊実績がある。3月に台湾のツアー会社の代表にお会いした。一時間以内範囲のアクティビティ情報を求められ提供している。村を軸とした滞在型観光を売り込んでいきたい。県も台湾の定期就航を進めている。村としても台湾への売り込みをしているところ。

【観光課】令和6年度にも当初予算の中でインバウンドに対する情報発信経費を盛り込んでいる。

【村 長】ネコマウンテンが始まった。会津若松市、磐梯町、村で DMO を構成している。今年はネコマウンテンからグランデコまでバスを走らせる予定。今は特定のホテルに宿泊が偏っているが、今後は裏磐梯全体にお客様が流れるような仕組みを提案していきたい。

【村 民】DC を以前実施したが、地元のイベントをたくさん掲載する手立てが必要と感じた。

【村 長】ご意見として頂戴した。

景観・通景

【村 民】裏磐梯には景色を見に来る方が多い。道路脇の除草など景観が気になる。以前は花植えなどをしていたが今はしていない。木々が高くなり磐梯山が見えにくくなっている。写真が撮れる場所がどんどん減っている。天気が悪ければ何も見れずに帰ってしまう。天気が悪くても子供から大人までが楽しみながら学べるような施設があってもいいのではないか。毎年少しずつでもいいから、何か新しいものができれば誘客に繋がるのではないか。インバウンドの方が昼食を探していたが情報が乏しいようだ。公式 LINE を活用して様々な情報をわかりやすく発信してほしい。訪れた方が分かりやすいように。

【村 長】1888 年の噴火以降、年数を重ねて木々が高くなっている。昨年、桧原湖周遊、県有料道

路を全て自然保護官と確認した。昔の展望台が見えなくなっていることから、整備を依頼した結果、三湖パラダイスの伐採に至った。桧原湖周遊は東京電力の所有であったことから、交渉して桧原湖西側の展望台から見えるように要望して、今年6月に実施することに至った。少しずつだが着手していきたい。今年はビジターセンターのリニューアルをしている。バス停の南側を公園にする考え。これから2年程度での完成を考えている。裏磐梯の食事するところなどの情報を発信していきたい。また、協力隊などで起業する方を募集しているところ。今年度も5名の採用を進めている。魅力づくりには様々な方の力を借りながら進めていきたい。

電柱地中化

【村 民】電柱電線の埋設は難しいか。せっかくの自然がもったいない。

【村 長】電力会社への要望を考えたい。

探勝路整備

【村 民】情報を発信する際に、裏磐梯がどういうところかわかりにくいと感じている方もいるようだ。小野川歩道と休暇村園地の歩道 80mがつながれば 20 キロのロングトレイルが実現する。長い距離が歩けるのは大変魅力。人集めに繋がる可能性がある。アップダウンがないのも売りになる。お金がかからないのでできるのであれば進めてほしい。7年前から伝えている。そんなに難しいことだとは思えない。

五色沼遊歩道が歩きにくいのではないかと。特別保護区であることはわかるが観光客の利便性を考えるべき。国も含めて進めることかと思うが、倒木や危険木をそのままウッドチップにして舗装するなどすれば歩きやすくなるのではないかと。撤去する労力が大変。地域からの声として村が進めてほしい。

【村 長】休暇村の支配人に伝えた経過がある。改めて話してみたい。五色沼遊歩道についても自然保護官と話してみたい。可能性があれば環境省に要望するなど進めたい。

【村 民】外国のトレッキングコースはきちんと整備されている。それと比べて五色沼遊歩道はトレッキングコースと言えない。観光客目線で進めてほしい。

人口減少対策

【村 民】人口減少には様々な要因が考えられる。私が考える移住のポイントは教育が充実していることかと考える。学力の向上など噂になれば移住のきっかけになる。自然が多いから子供の教育にもいい。働く場所も欲しい。様々な業種があることから、時間帯による雇用などの案内ができればいいのではないかと。冬がネック。除雪機の提供などもいいか。公共交通も必要。通学だけでなく免許返納者への対応も。買い物難民が増えてくると考える。生きるには転出するしかないのが今の状況。お墓の整備も必要か。桜峠を自由散骨にするのはどうか。安心して住むことができる環境をお願いしたい。

【村 民】桜峠は素晴らしい公園になった。皇室の方をぜひ呼んで欲しい。今の天皇陛下も国立公園大会の時にいらっしゃった。

【村 民】この村にはコミュニケーションの場と文化がない。年に1回は落語家を呼ぶなどはどうか。みんなで笑ってすごせるような環境が欲しい。みんなが集いながら文化を楽しみたい。

【教育長】裏磐梯では希望する進路がもてることを叶えられるように考えながら教育を進めており、

優秀な先生の確保に努めており、今後も取組みたい。ドラゴン桜構想のようなことも必要かと思う。地域の方々から学習を教えてもらえる環境も重要。外国人労働者のお子さんが裏磐梯小に入学いただいた。なかなか体験できない環境。桧原宿の調査に加えて金山などのPRが必要と考えている。

公共交通

【村 民】コミュニティバスと路線バス、JR の時刻が合わない。乗り継ぎができるようにしていただきたい。

【総務課】路線バスや JR との接続を意識したダイヤの設定にしている。

【村 長】利便性を高めるという意味では、試行錯誤している。確認してみる。

その他

【村 民】他の地域で出た意見の公表をしていただきたい。いつでも見れるようにしてもらえないか。

【総務課】昨年もホームページで公表しており、今年も行う。

【村 長】さきほどのコミュニケーションの場と文化については地域から声を上げて頂けるとありがたい。予算が必要であれば行政が関わる。行政、家庭、地域の役割を進めていきたい。山形県飯豊町では地域の協議会へ補助をしている取組みがある。地域の主体性を尊重していきたい。スクールワゴンについても充実させるなど、公共交通にも力を入れている。より身近な新規事業ができたのもふるさと納税という自己財源ができたことがある。ぜひ皆さんにもPRしてほしい。

○ 桧原地区(6月 28 日(金)19:21~20:17)

令和6年度新規事業

- 【村 民】子育てに関する法律ができた。県はこどもまんなか社会を進めている。村の施策と有機的に結びついているのか。
- 【保福課】おっしゃるとおり国が子育てに関する法律を制定した。村では来年度スタートの子育て計画策定を予定。法律や県が策定する計画などを踏まえた計画とする。国では本年10月から児童手当を拡充する一方、その他の様々事業において取得制限や居住地などによる制限などを行っている。村においては、その制限を取り払うなど、村内どの地域に住んでいても子育て支援ができるよう令和6年度の事業を構築した。
- 【村 民】絵にかいた餅にならないか。支援を充実させても村に魅力がなければ別の地域にいつてしまう。子育ての環境に馴染んでいない。住みにくい村だと思う。役場職員の子供も村外に出てしまっている。根本的なことから考える必要がある。
- 【村 長】私も高校卒業し、仕事の関係で 30 年離れていた。我々の世代は親から跡取りといった教育をされてきたが、一方で自分たちの子どもに対して自由にさせてきたことも事実。それにより村を離れてしまっている。この課題は全国的な問題。結婚に対して女性の負担が大きい社会。家事、出産など結婚に踏み切れない方もいるのも事実。今回は行政側としてできることを施策としてメニューを揃えた。家庭の役割、地域の役割によってどのように形成していくか。改めて考えなければならぬ課題だと感じている。
- 【村 民】年寄りばかりが残っている。財政的にも厳しくなる。若い人が残れるような産業をつくって雇用につなげるなどもひとつ。
- 【村 長】村内の他の行政区でも村に誇りをもって住んでいる人もいる。村には 204 万人の観光客がくる。滞在するには食事する場、遊ぶ場が少ないと感じているようだ。そのような起業をする人を増やすような施策も必要。村に住みたいと思う方は多いが住居の問題もある。行政がやるべき役割はしっかりと進めていきたい。

村の駅構想

- 【村 民】村の駅整備とあるがどのような広さの規模なのか。各種団体が集まれるような広さが確保できるのか。
- 【村 長】買い物や食事ができる複合施設を整備すると、昨年の村政懇談会の中で話をさせていただき、議会にも説明をした。村としては、人が集えるような場所も確保したいと考えている。今現在は練り直している段階。そのような意見を参考にしたい。

ラビスパ裏磐梯

- 【村 民】ラビスパ裏磐梯はどうなるのか。我々には状況がわからない。
- 【村 長】皆様からの意見を踏まえ、12 月に議会に説明した。その際にスケジュールを提示し、1 月停止、3月廃止を進めてきたが、ラビスパ裏磐梯に関する条例が否決となっているところ。村としてはスケジュールに沿って進めてきている。時期尚早といった意見もあるが、現在、利活用に向けた公募を進めている。その結果を踏まえて、また議会に説明する予定。
- 【村 民】公募に応じる事業者はいるのか。村の健康増進施設として整備されてきたが、採算取れないことから営業を断念することは致し方ないが、それに代わる健康増進施設を考えてい

るのか。

【村 長】宴会やお風呂については補助をするなどして他の施設を利用していただくことなどはできると思う。ただ、屋内スポーツとなれば保健センターや屋内運動場を使うのが現状。

【村 民】ラビスパ裏磐梯が使えないのであれば、その代替りの施設が必要と考える。学校プールの問題はないのか。

【教育長】裏磐梯小はプールをつかっており、裏磐梯中は磐梯町の施設を利用している。一中は故障しておりさくら小を使っている。

【村 民】壊れたままでいいのか。使いにくいのではないか。

【教育長】飛び込みなどは行わないことから、問題はない。

農業振興

【村 民】農業と観光の村。農業をもう少し発展していただきたい。勤め先が無い、収入が無いことから村を離れて便利な生活を求めてしまう。ラビスパ裏磐梯は若者定住ということのでつった経過がある。農業と観光にもっと力を入れてほしい。子供は高校を出ると地元には帰って来ない。村にどのような魅力があるかで子供は判断するのではないか。もう少し元気を出してもらいたいと考える。磐梯町や昭和村などからは馬力を感じる。大きな視点全体のバランスを考えて行動してはどうか。ここに残るには誇りを感じれないと難しいし、移住も見込めない。鳥獣被害も大変な状況。若者が残れるようなシステム作りを願う。

【村 長】農業後継者不足が懸念されている。農業法人として株式会社あいばせが設立された。農業法人を中心に受け皿づくりができています。早稲沢地区の農産物のブランド化などを考える必要がある。東京農大との包括連携協定もあることから、元気な村になるよう進めていきたい。観光プラザとビジターセンターを一面化して拠点にしたいと考えている。公園も整備する予定。しっかりと考えて進めていきたい。

【村 民】ここで住みながら収入が持てるようにしてほしい。塾に行っている負担も大変なようだ。魅力ある地域をどうつくればいいのか、考えてほしい。

空き家対策・スマホ教室

【村 民】地域おこし協力隊の空き家対策の方の報告を聞いたが、成果が挙がらなかったようだ。なぜそうなったのか、なぜ成立しなかったのか、詳しく聞きたかった。空き家は自分の問題でもある。しっかりと公表してほしい。

高齢化率 40%を超えたが、スマホを持っている人が多い。公民館事業でスマホ教室をやっていただけのことはいずれも。月1回4地区まわるなどできないか。スマホの使い方を気軽に聞くことができる環境が欲しい。他の地区では村政懇談会でどのような意見がでたのか伺いたい。

【総務課】空家対策の報告会の結果は、後程お伝えしたい。空き家は現在 100 数件ある。昨年からは移住コーディネーターを配置している。相談会などでPRをしているところ。空き家バンクの登録と紹介をしている。

【教育課】スマホ教室は各地区4箇所で開催予定。詳細は追ってご連絡する。

【住税課】書かない窓口はマイナンバーカードや免許証を読み取って、氏名・住所などの情報を申請書に自動で記載されるもの。設置は役場と合庁を予定。年内、遅くとも年明けには整備したい。

【総務課】他地区での懇談会の内容は、村ホームページに掲載予定。

【副村長】主に以下のような意見が挙がっていた。

北山地区：福島駅伝、村の駅、住宅用地、ラビスパ裏磐梯、企業誘致、除雪

大塩地区：学校給食、若者流出防止、探勝路の維持管理、ラビスパ裏磐梯、

シルバー人材センター

裏磐梯地区：観光振興、有害鳥獣、通景

五色沼東園地

【村 民】裏磐梯の玄関口とはどこのことか。

【村 長】ビジターセンター周辺の整備を予定している。令和7年頃には様変わりすると思う。

【村 民】桧原集会所周りに桜を500mほど植樹してはどうか。温泉、食事処、湖、お寺がある。人が集まるエリアになるのではないかと。表だけでなく奥の方も整備を願う。

【村 民】県管理だから許可が必要なエリア。村では難しい。

【村 長】その思いが地域住民の方皆さんと共有されているかが大切。皆さんがそのような意識なのであれば、村として県と連携して整備も考えれる。自分たちの地域づくりを自分達ですることとはとてもいいこと。

ラビスパ裏磐梯

【村 民】ラビスパ裏磐梯は、いつまでたっても黒字にならない施設。修繕も嵩んでいる。廃止すると思っていたが、どうなっているのか。

【村 長】村としては廃止したいと議会に諮ったが2回否決されている。村では現在公募を6月末までしている。その結果を踏まえて再度議会に協議する予定。

【村 民】応募はあったのか。

【村 長】現時点では答えられない。6月末をもって議会と話していきたい。

探勝路整備

【村 民】小谷山～金山浜探勝路は廃止するのか、それとも整備するのか。

【観光課】橋が流されており通行止め。予算は確保できていない。

【村 民】使えなくなるとどの位経つか。どうするのか。

【観光課】5年ほど経つ。

【村 民】木道も壊れており湖も満水で歩けない状態。何度も直したが木道が浮いてしまう。

【村 民】東電が水位をあげたことが原因。

【村 民】修繕してもキリがないならやめたほうがいい。

【観光課】改めて確認して今後の方針を決めていきたい。